

誰もが受診しやすい脳健診を実現するプラットフォーム「スマート脳ドック」

概要

「スマート脳ドック」サイトは、高度医療機器（MRI/CT）を活用した健診・検診を、誰もが受診しやすくしたプラットフォームです。MRIの未稼働時間を活用したシェアリングエコノミーモデルを実現し、高度医療機器を使った健診を身近にします。

特徴

- 誰でも受診しやすい検査費用を実現、全国同一価格・同品質の診断を提供
検査の無駄を徹底的に排除。また、遠隔読影システムを導入し、医療施設の外にいる医師の空き時間を効率的に活用することで受診しやすい費用を実現。
- 健診・検診環境を整え、「受付からお帰りまで30分」の脳ドック提供
Webでの予約と問診により、医療施設の滞在時間を短縮し負担を軽減。
検査結果の確認は、パソコンやスマートフォンで閲覧できる。
- シェアリングエコノミーモデル×移動式MRI車両＝地方創生
高度医療機器を保有する施設の少ない地域で脳ドックを提供。

今後の展開

- PHRを活用した疾患発症傾向の分析
「スマート脳ドック」で収集したデータをもとに、脳疾患や認知症の発症予測モデルの作成を目指す。

テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- 医療システムのDX推進と医療ビッグデータを活用したAIの開発
他国に類をみない速度で進行する日本の高齢化。治療から未病ケア・予防医療にシフトする流れに、医療DXで貢献する。

